

脆弱性対策情報データベース JVN iPedia の登録状況 [2026 年第 2 四半期（4 月～6 月）]

脆弱性対策情報データベース JVN iPedia の登録状況について

本レポートでは、2026 年 4 月 1 日から 2026 年 6 月 30 日までの間に JVN iPedia で登録をした脆弱性対策情報の統計及び事例について紹介しています。

目次

1. 2026 年第 2 四半期 脆弱性対策情報データベース JVN iPedia の登録状況	- 2 -
1-1. 脆弱性対策情報の登録状況	- 2 -
2. JVN iPedia の登録データ分類.....	- 3 -
2-1. 脆弱性の種類別件数	- 3 -
2-2. 脆弱性に関する深刻度別割合.....	- 4 -
2-3. 脆弱性対策情報を公開した製品の種類別件数	- 6 -
2-4. 脆弱性対策情報の製品別登録状況	- 7 -
3. 脆弱性対策情報の活用状況	- 8 -

1. 2026 年第 2 四半期 脆弱性対策情報データベース JVN iPedia の登録状況

脆弱性対策情報データベース「JVN iPedia（<https://jvndb.jvn.jp/>）」は、ソフトウェア製品に関する脆弱性対策情報を 2007 年 4 月 25 日から日本語で公開しています。システム管理者が迅速に脆弱性対策を行えるよう、1) 国内のソフトウェア開発者が公開した脆弱性対策情報、2) 脆弱性対策情報ポータルサイト JVN^{(*)1} で公表した脆弱性対策情報、3) 米国国立標準技術研究所 NIST^{(*)2} の脆弱性データベース「NVD^{(*)3}」が公開した脆弱性対策情報を集約、翻訳しています。

1-1. 脆弱性対策情報の登録状況

～脆弱性対策情報の登録件数の累計は 290,167 件～

2026 年第 2 四半期（2026 年 4 月 1 日から 6 月 30 日まで）に JVN iPedia 日本語版へ登録した脆弱性対策情報は表 1-1 の通りとなり、2007 年 4 月 25 日に JVN iPedia の公開を開始してから本四半期までの、脆弱性対策情報の登録件数の累計は 290,167 件になりました（表 1-1、図 1-1）。

また、JVN iPedia 英語版へ登録した脆弱性対策情報は表 1-1 の通り、累計で 3,270 件になりました。

表 1-1. 2026 年第 2 四半期の登録件数

	情報の収集元	登録件数	累計件数
日本語版	国内製品開発者	11 件	325 件
	JVN	109 件	17,588 件
	NVD	13,011 件	272,254 件
	計	13,131 件	290,167 件
英語版	国内製品開発者	11 件	328 件
	JVN	55 件	2,942 件
	計	66 件	3,270 件

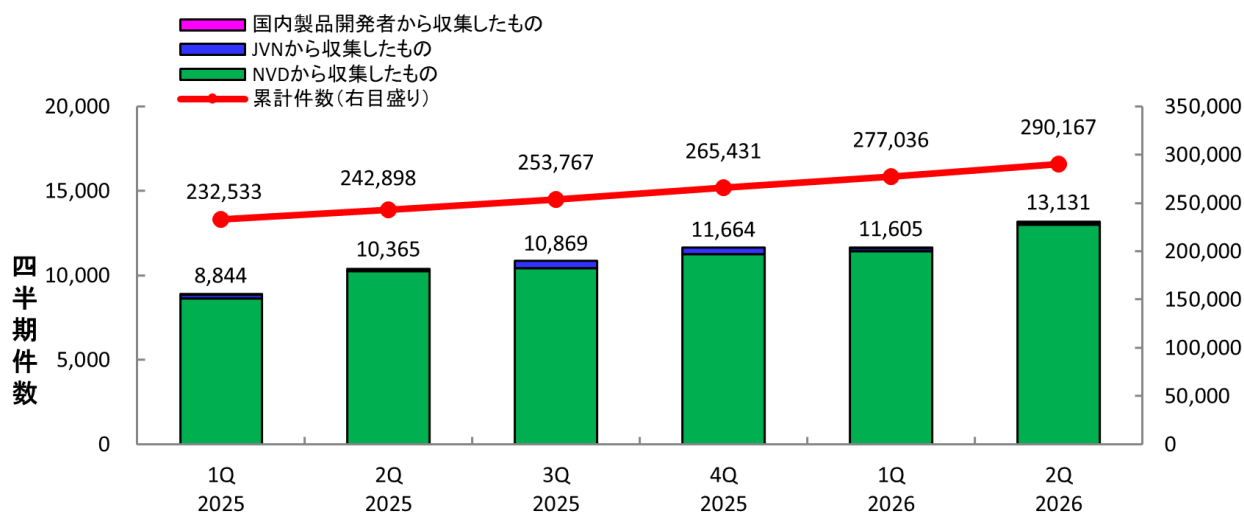


図 1-1. JVN iPedia の登録件数の四半期別推移

(*)1 Japan Vulnerability Notes : 脆弱性対策情報ポータルサイト。製品開発者の脆弱性への対応状況を公開し、システムのセキュリティ対策を支援しています。IPA、JPCERT/CC が共同で運営しています。 <https://jvn.jp>

(*)2 National Institute of Standards and Technology : 米国国立標準技術研究所。米国の科学技術分野における計測と標準に関する研究を行う機関 : <https://www.nist.gov>

(*)3 National Vulnerability Database : NIST が運営する脆弱性データベース。 <https://nvd.nist.gov>

2. JVN iPedia の登録データ分類

2-1. 脆弱性の種類別件数

図 2-1 は、2026 年第 2 四半期（4 月～6 月）に JVN iPedia へ登録した脆弱性対策情報を、共通脆弱性タイプ一覧(CWE)によって分類し、件数を集計したものです。

集計結果は件数が多い順に、CWE-416（解放済みメモリの使用）が 749 件、CWE-79（クロスサイトスクリプティング）が 697 件、CWE-20（不適切な入力確認）が 445 件、CWE-125（境界外読み取り）が 413 件、CWE-284（不適切なアクセス制御）が 398 件でした。最も件数の多かった CWE-416（解放済みメモリの使用）は、悪用されると情報を取得される、情報を改ざんされる、およびサービス運用妨害（DoS）状態にされる可能性があります。

製品開発者は、ソフトウェアの企画・設計段階から、脆弱性の低減に努めることが求められます。IPA ではそのための資料やツールとして、開発者が実施すべき脆弱性対処をまとめた資料「[脆弱性対処に向けた製品開発者向けガイド](#)^(*)」、開発者や運営者がセキュリティを考慮したウェブサイトを作成するための資料「[安全なウェブサイトの作り方](#)^(*)」、脆弱性の仕組みを実習形式や演習機能で学ぶことができる脆弱性体験学習ツール「[AppGoat](#)^(*)」などを公開しています。

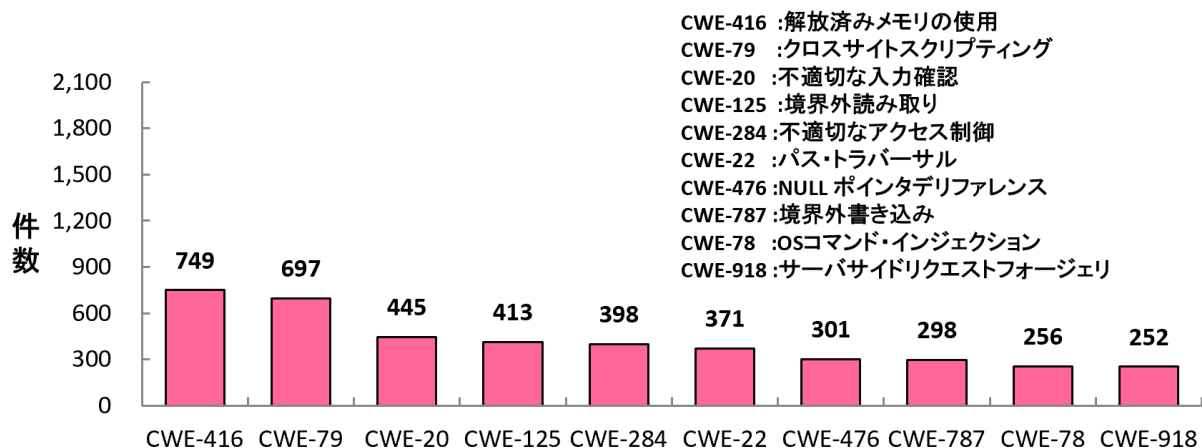


図 2-1. 2026 年第 2 四半期に登録された脆弱性の種類別件数

^(*) IPA : 「脆弱性対処に向けた製品開発者向けガイド」
<https://www.ipa.go.jp/security/guide/vuln/forvendor.html>

^(*) IPA : 「安全なウェブサイトの作り方」
<https://www.ipa.go.jp/security/vuln/websecurity/about.html>

^(*) IPA : 「脆弱性体験学習ツール AppGoat」
<https://www.ipa.go.jp/security/vuln/appgoat/index.html>

2-2. 脆弱性に関する深刻度別割合

図 2-2 は JVN iPedia に登録済みの脆弱性対策情報を CVSSv2 の値に基づいて深刻度別に分類し、登録年別にその推移を示したものです。

2026 年に JVN iPedia に登録した脆弱性対策情報は深刻度別に、レベル 3 が全体の 44.7%、レベル 2 が 44.3%、レベル 1 が 11.0% となっており、情報の漏えいや改ざんされるような危険度が高い脅威であるレベル 2 以上が 89.0% を占めています。

なお、2024 年より JVN iPedia における CVSSv2 の登録件数が大幅に減少した理由は、JVN iPedia の情報収集元である NVD において CVSSv2 の評価が積極的には行われていない⁽⁷⁾ ためです。

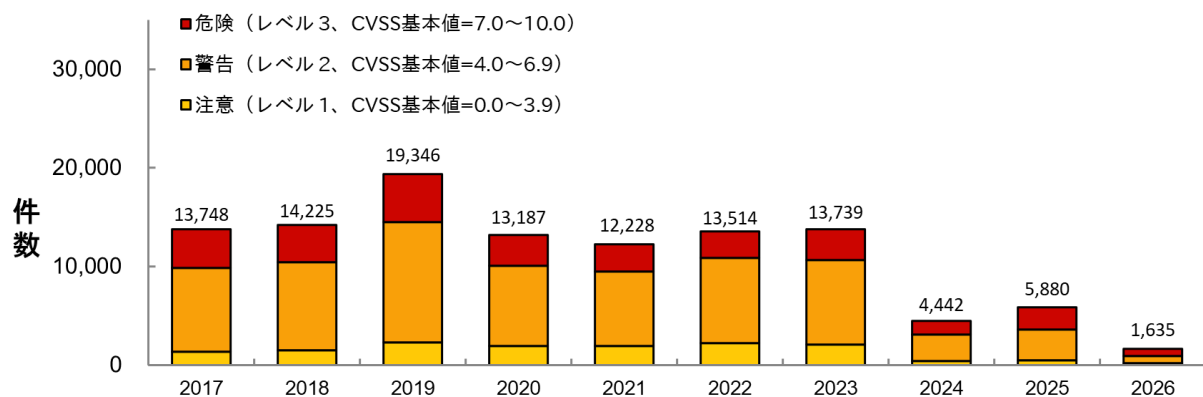


図 2-2. 脆弱性の深刻度別件数(CVSSv2) 過去 10 年分

⁽⁷⁾ NIST : 「Retirement of CVSS v2」
<https://nvd.nist.gov/general/news/retire-cvss-v2>

図 2-3 は JVN iPedia に登録済みの脆弱性対策情報を CVSSv3 の値に基づいて深刻度別に分類し、登録年別にその推移を示したものです。

2026 年に JVN iPedia に登録した脆弱性対策情報は深刻度別に、「緊急」が全体の 14.0%、「重要」が 42.5%、「警告」が 41.3%、「注意」が 2.2%となっています。

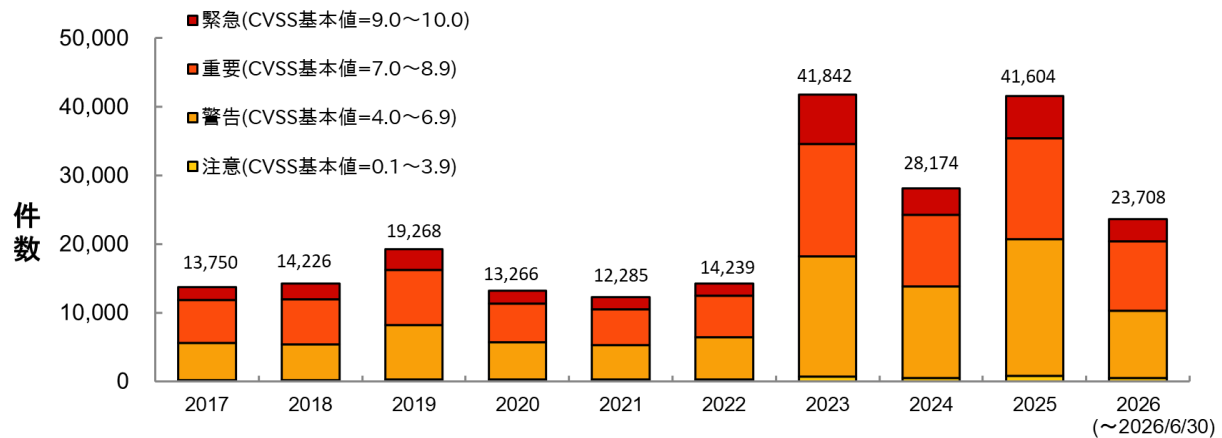


図 2-3. 脆弱性の深刻度別件数(CVSSv3) 過去 10 年分

既知の脆弱性による脅威を回避するため、製品開発者は常日頃から新たに報告される脆弱性対策情報に注意を払うと共に、**脆弱性が解消されている製品へのバージョンアップやアップデート**などを速やかに行ってください。

なお、新たに登録した JVN iPedia の情報を、RSS 形式や XML 形式^(*)で公開しています。

^(*) IPA : 「JVN iPedia データフィード」
<https://jvndb.jvn.jp/ja/feed/>

2-3. 脆弱性対策情報を公開した製品の種別別件数

図 2-4 は JVN iPedia に登録済みの脆弱性対策情報をソフトウェア製品の種別別に件数を集計し、年次でその推移を示したものです。2026 年で最も多い種別は「アプリケーション」に関する脆弱性対策情報で、2026 年の件数全件の約 74.0%（17,695 件／全 23,912 件）を占めています。

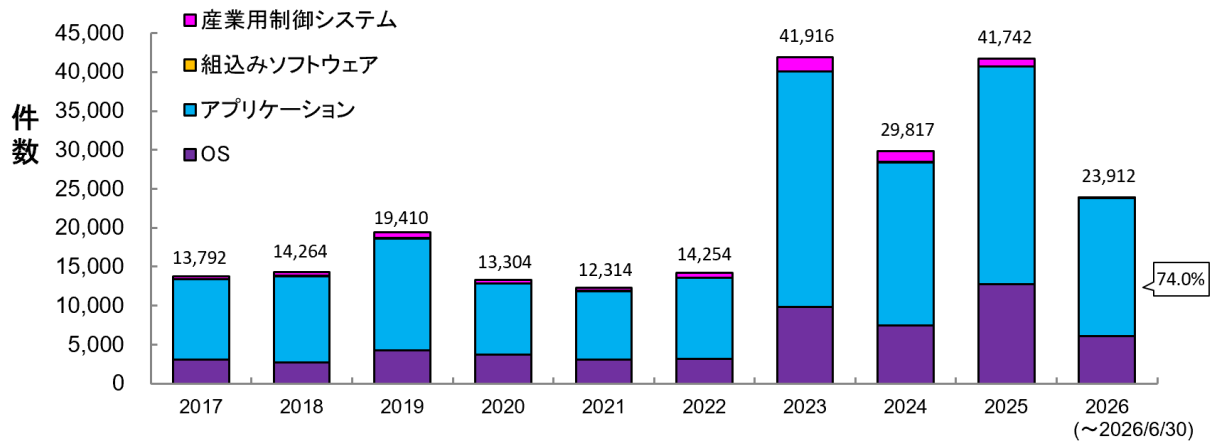


図 2-4. 脆弱性対策情報を公表した製品の種別別件数の公開年別推移過去 10 年分

図 2-5 は重要インフラなどで利用される、産業用制御システムに関する脆弱性対策情報の件数を集計し、年次でその推移を示したものです。

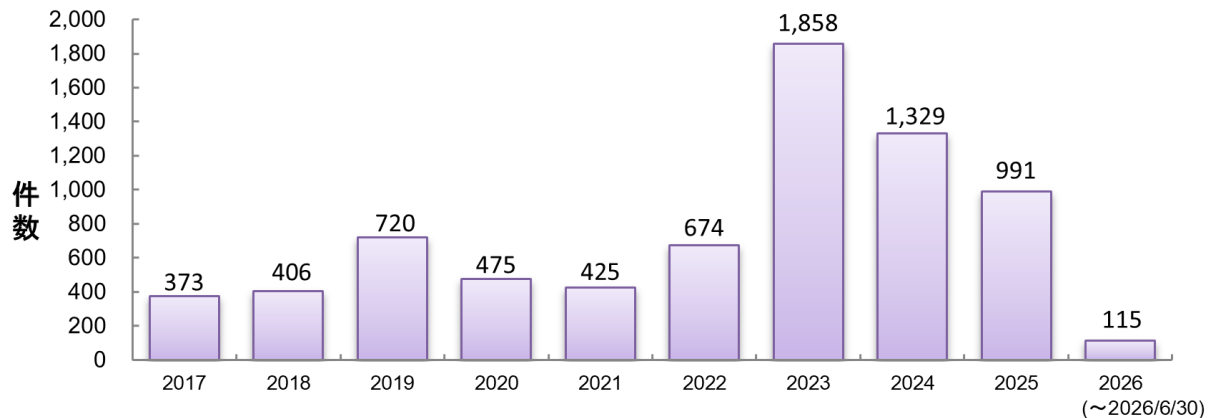


図 2-5. JVN iPedia 登録件数（産業用制御システムのみ抽出）過去 10 年分

2-4. 脆弱性対策情報の製品別登録状況

表 2-1 は 2026 年第 2 四半期（4 月～6 月）に JVN iPedia へ登録された脆弱性対策情報の中で登録件数が多かった製品上位 20 位を示したものです。

本四半期においてはクアルコム製品が 1 位となりました。2 位以降は Linux Kernel、マイクロソフトの OS、Google Chrome がランクインをしました。

JVN iPedia は、表に記載されている製品以外にも幅広い脆弱性対策情報を登録公開しています。製品の利用者や開発者は、自組織などで使用しているソフトウェアの脆弱性対策情報を迅速に入手し、効率的な対策に役立ててください^(*)。

表 2-1. 製品別 JVN iPedia の脆弱性対策情報登録件数 上位 20 位 [2026 年 4 月～2026 年 6 月]

順位	カテゴリ	製品名（ベンダ名）	登録件数
1	ファームウェア	Qualcomm component (クアルコム)	5,183
2	OS	Linux Kernel (Linux)	1,514
3	OS	Microsoft Windows 11(マイクロソフト)	1,121
4	ブラウザ	Google Chrome (Google)	1,102
5	OS	Microsoft Windows 10(マイクロソフト)	920
6	OS	Microsoft Windows Server 2022(マイクロソフト)	451
7	AI エージェント	OpenClaw(OpenClaw)	346
8	OS	Microsoft Windows Server 2025(マイクロソフト)	295
9	OS	Microsoft Windows Server 2019(マイクロソフト)	245
10	OS	Microsoft Windows Server 2016(マイクロソフト)	205
11	OS	Microsoft Windows Server 2012(マイクロソフト)	165
12	OS	Android (Google)	146
13	ブラウザ	Mozilla Firefox (Mozilla Foundation)	140
13	メール	Mozilla Thunderbird (Mozilla Foundation)	124
15	OS	macOS (アップル)	118
16	OS	Red Hat Enterprise Linux (レッドハット)	85
17	UI	Open WebUI (Open WebUI)	81
17	その他	GitLab (GitLab.org)	81
19	OS	iOS (アップル)	74
19	OS	iPadOS (アップル)	74

^(*) IPA：「脆弱性対策の効果的な進め方（実践編）」

<https://www.ipa.go.jp/security/reports/technicalwatch/20150331.html>

3. 脆弱性対策情報の活用状況

表 3-1 は 2026 年第 2 四半期（4 月～6 月）にアクセスが多かった JVN iPedia の脆弱性対策情報の上位 20 位を示したものです。

本四半期は、上位 20 位すべてが脆弱性対策情報ポータルサイト JVN で公開された脆弱性対策情報でした。

表 3-1. JVN iPedia の脆弱性対策情報へのアクセス 上位 20 位 [2026 年 4 月～2026 年 6 月]

順位	ID/タイトル	CVSSv2 基本値	CVSSv3 基本値	公開日	アクセス数
1	JVNDB-2026-016006 シスコシステムズの Cisco Catalyst SD-WAN Manager 等の複数製品における認証に関する脆弱性	-	10.0	2026 年 5 月 18 日	23,133
2	JVNDB-2026-016098 vm2 project の vm2 におけるコードインジェクションの脆弱性	-	10.0	2026 年 5 月 18 日	11,196
3	JVNDB-2026-016090 vm2 project の vm2 における複数の脆弱性	-	10.0	2026 年 5 月 18 日	11,165
4	JVNDB-2026-016089 vm2 project の vm2 におけるコードインジェクションの脆弱性	-	10.0	2026 年 5 月 18 日	11,104
5	JVNDB-2025-023591 MetaCubeX の Mihomo におけるアクセス制御に関する脆弱性	-	6.5	2026 年 1 月 6 日	9,620
6	JVNDB-2026-009147 Hitachi Infrastructure Analytics Advisor および Hitachi Ops Center Analyzer における脆弱性	-	8.2	2026 年 3 月 27 日	8,924
7	JVNDB-2026-016261 DHTMLX の PDF Export Module における OS コマンドインジェクションの脆弱性	-	10.0	2026 年 5 月 20 日	5,945
8	JVNDB-2026-015918 マイクロソフトの Microsoft Authenticator における情報漏えいに関する脆弱性	-	7.4	2026 年 5 月 18 日	4,656
9	JVNDB-2025-001490 7-Zip における脆弱性	-	7.0	2026 年 2 月 13 日	4,599
10	JVNDB-2026-000050 Movable Type における複数の脆弱性	-	9.8	2026 年 4 月 8 日	4,569
11	JVNDB-2026-000049 NEC Aterm シリーズにおける複数の脆弱性 (NV26-001)	-	-	2026 年 4 月 3 日	4,439

順位	ID/タイトル	CVSSv2 基本値	CVSSv3 基本値	公開日	アクセス数
12	JVNDB-2026-000051 SKYSEA Client View および SKYMEC IT Manager における不適切なファイルアクセス権設定の脆弱性	-	7.8	2026 年 4 月 20 日	4,296
13	JVNDB-2026-000072 GUARDIANWALL MailSuite におけるスタックベースのバッファオーバーフローの脆弱性	-	9.8	2026 年 5 月 13 日	3,992
14	JVNDB-2026-000073 エレコム製無線 LAN ルーターおよび無線アクセスポイントにおける複数の脆弱性（2026 年 5 月）	-	9.8	2026 年 5 月 12 日	3,903
15	JVNDB-2026-000053 EmoCheck における DLL 読み込みに関する脆弱性	-	7.8	2026 年 4 月 10 日	3,876
16	JVNDB-2026-011159 Apache Software Foundation の Apache Tomcat 等の複数製品における認証に関する脆弱性	-	9.1	2026 年 4 月 16 日	3,875
17	JVNDB-2026-000066 リコー製 Web Image Monitor を実装している複数のレーザープリンタおよび複合機（MFP）におけるオープンリダイレクトの脆弱性	-	4.7	2026 年 4 月 30 日	3,626
18	JVNDB-2026-004072 axios project の axios における例外的な状態のチェックに関する脆弱性	-	7.5	2026 年 2 月 20 日	3,405
19	JVNDB-2026-000079 NEC Aterm シリーズにおける OS コマンドインジェクションの脆弱性（NV26-003）	-	6.8	2026 年 5 月 25 日	3,359
20	JVNDB-2026-011174 Apache Software Foundation の Apache Tomcat における HTTP リクエストスマグリングに関する脆弱性	-	7.5	2026 年 4 月 16 日	3,309

表 3-2 は国内の製品開発者から収集した脆弱性対策情報でアクセスの多かった上位 5 位を示しています。

表 3-2. 国内の製品開発者から収集した脆弱性対策情報へのアクセス上位 5 位 [2026 年 4 月～2026 年 6 月]

順位	ID/タイトル	CVSSv2 基本値	CVSSv3 基本値	公開日	アクセス数
1	JVNDB-2026-009147 Hitachi Infrastructure Analytics Advisor および Hitachi Ops Center Analyzer における脆弱性	-	8.2	2026 年 3 月 27 日	8,924
2	JVNDB-2026-016976 日立ディスクアレイシステムにおける SVP 脆弱性対 策について (2026 年 3 月分)	-	-	2026 年 5 月 25 日	3,094
3	JVNDB-2026-010301 JP1/IT Desktop Management 2, JP1/NETM/DM に おける複数の脆弱性	-	8.8	2026 年 4 月 8 日	2,886
4	JVNDB-2026-016983 Cosminexus における複数の脆弱性	-	-	2026 年 5 月 27 日	2,675
5	JVNDB-2026-016981 Hitachi Infrastructure Analytics Advisor, Hitachi Ops Center Analyzer および Hitachi Ops Center Analyzer viewpoint における脆弱性	-	4.6	2026 年 5 月 27 日	2,653